

トリニティムーン利用規約付き使用フリー脚本 007
『大人のおもちゃ屋さん』

20160302
高辻カンナ

男性 0人

女性 2人

その他 0人

客……大人の女性

店長……子供っぽい

1. 店長 『使用フリー脚本』007』

2. 客 『大人のおもちゃ屋さん』

自動ドアの音。

3. 店長 「いらっしやいませー」

4. 客 「……あなた店員さん？ ってことは成人してるのよね？」

5. 店長 「えへん、もちろんです。それどころかあたしは、この女性向けアダルトグッズショップの店長なのです。偉いのです」

6. 客 「そうなの。ずいぶん幼く見えるから、驚いちゃったわ」

7. 店長 「よく言われるんです。それで今日は、どんなものをお探ですか？」

8. 客 「そ、それが……その……」

-
9. 店長「恥ずかしがらなくていいんですよ。女性がアダルトグッズを使うのは、ちっとも恥ずかしいことではないのです。それは男性社会によって押し付けられた、間違った性道徳観念なのですから」
10. 客「そ、そうよね。じつは、バイブというものに興味があるの」
11. 店長「はい。バイブはこちらになります」
12. 客「ふーん。ずいぶんと種類があるのね」
13. 店長「長さとか、太さとか、動きとか、いろいろあるのです」
14. 客「あたし、初めてなのよね。こんなにたくさんあると、迷っちゃうわ」
15. 店長「初めての方には、これなんてお勧めですよ。サイズも普通ですし、お値段もお手頃なのです」
16. 客「この大きさが普通なの？　こんなに長くて太いの、あたしの中に入るかしら……」
17. 店長「意外と入るものなんですよ。あたしもこれは、大好きなひとつなんです」
18. 客「入るの？　あなたみたいな小さな身体でも？　信じられないわね」
19. 店長「普通に入りますよ。入れて見せましょうか？」
20. 客「入れて見せちゃうの!？」
21. 店長「お客様に、安心して購入していただきたいですから」
22. 客「はあ。目の前でバイブを使って見せるのって、アダルトグッズショップでは普通なのかしら？　あたし、こういうお店に入るのは初めてだから、よく知らないんだけど」
23. 店長「うちは、他の店より親切丁寧なのです。では、これを入れる前に、っと」
24. 客「入れる前に、することがあるの？　知らなかったわ」

-
25. 店長 「先に入ってるのを、抜くのです」
26. 客 「もう入ってたの!？」
27. 店長 「新しく入荷したバイブを試すのも、あたしの仕事なんですよ」
28. 客 「そうなの。でもいいわ。あたしは初めてだし、やっぱり、もっと小さいのを買うことにする。あら？ これは何？ ずいぶん変わった形をしているけど」
29. 店長 「それはアナルバイブですよ。お尻に入れて使います」
30. 客 「お尻に？ こんなものが？ 信じられないわ」
31. 店長 「入れて見せましょうか？」
32. 客 「やっぱり入れて見せちゃうの!？」
33. 店長 「お客様に、安心して購入していただきたいですから」
34. 客 「ちよつとだけ、見てみたい気もするわね。自分では、絶対に使わないだろうけど」
35. 店長 「では、これを入れる前に、っと」
36. 客 「入れる前に、することがあるの？ アナルバイブって、やっぱり特殊なのかしら」
37. 店長 「先に入ってるのを、抜くのです」
38. 客 「そっちにも入ってたの!？」
39. 店長 「だから、新しく入荷したバイブを試すのも、あたしの仕事なんです」
40. 客 「いいわ。アナルバイブは買わないから。あたしが欲しいのは、さっきより小さいバイブなの。どんなものがあるの？」
41. 店長 「そうですね。これなんてどうでしょう?」

-
42. 客「あら。今度は、ずいぶん小さいのね」
43. 店長「バイブの一種で、ローターと言います。敏感な所に当てたり、中に入れたりして使います。手元のリモコンで操作するんですよ」
44. 客「これはちょっと……良さそうね」
45. 店長「使ってみせましょうか？」
46. 客「あなた、ひよっとして、見せるのが好きなかしら？」
47. 店長「これも営業努力なのです」
48. 客「いいわ。これをちょうだい」
49. 店長「試してみなくていいんですか？」
50. 客「試せちゃうの!？」
51. 店長「そうなんです。買ってから『これはいまいちだった』というのも嫌でしょう？ この店のお客様には、素敵なオナニーライフを送っていただきたいのです」
52. 客「た、試せると言われても……やっぱり、それは恥ずかしいわ。それに、えっちな気分にもなれないし」
53. 店長「専用の個室には、女性向けのえっちなDVDもありますよ。買ってから後悔しても遅いのです。ゆっくりと試してみてください」
54. 客「じゃ、じゃあ、ちょっとだけ」
55. 店長「(ト)ゆっくりどうぞー」
ちよっと間。
56. 客「あ、あ、あ」

-
57. 店長「どうですか？ 気持ちいいですか？」
58. 客「ま、まあまあ、ね」
59. 店長「ダイヤルで、振動の強さも調節できます」
60. 客「あ、あ、あ。これ、凄いい、かも。あ、あ、あ。あ？ あら？ 動きが止まっちゃったわよ？」
61. 店長「壊れたのでなければ、電池切れですね。新しい電池を持って来ましょうか？」
62. 客「お願いするわ。できれば、早く」
63. 店長「早い方がいいですか？」
64. 客「お願い、早く。新しい電池をすぐにちょうだい」
65. 店長「どうしてですか？」
66. 客「い、いじわるしないで！ こんな中途半端な状態で、我慢できるわけがないでしょうー！」
67. 店長「じゃあ、『お願いします、店長様。あなたの奴隷になります』って言ってくださいいね」
68. 客「ええっ？ それは、どういうこと？」
69. 店長「お客様は、あたしの好みなのです。奴隷になるなら、新しい電池を差しあげますよ。どうですか？ 電池、欲しいでしょう？ 欲しくて、もう、たまらないでしょう？」
70. 客「い、意地悪う……」
71. 店長「あたし実は、ドSで女王様な店長なんです。ほら、はやくお願いしないと、電池はあげませんよ？」

-
72. 客「お……お願いします……店長様。あなたの……奴隷に……なります」
73. 店長「はい、良く言えました。新しい電池をどうぞ」
ちよつと間。
74. 客「あ、あ、あーっ！」
間。
75. 店長「お買い上げありがとうございます。他のアダルトグッズショップに行ったら、許
しませんからね？」
76. 客「……は？」
77. 店長「では、このローター、入れて帰りますか？」
78. 客「ええっ!？」
79. 店長「入れて帰りますよね？」
80. 客「は……はい……。店長様の……言う通りに……します……」
81. 店長「週に一度は、新しいグッズを試しに来てください。いいですね？」
82. 客「は……はい……。また……来ます……」
83. 自動ドアの音。
84. 店長「ありがとうございますあ！ ……うふふ。一挙両得！ アダルトグッズショッ
プって、やめられない！」

END